



**明光義塾 情熱空間グループ**

ホームページURL

: <http://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



2019.1月号

## 冬の過ごし方・入試本番に向けた心構えと勉強法

- ①不安になることを考えない** 受験が近づくにつれ、誰だってイライラしたり不安になったりするものです。考えていても不安ばかりが大きくなってきます。そんな時は思い切って気分転換をしましょう。好きな音楽を聴いたり、本を読んだり、高校生活をイメージしたりして、新たな気分で机に向かうようにしましょう。
- ②勉強は決めたペースで** この時期に新しい問題集に手をつけたり、難問に挑戦したりする人もいます。自分のペースで勉強を続けることが大切です。自分の弱点はどこなのか。どこで間違いやすいのかを把握し、重点的に復習していきましょう。
- ③スランプを解消するには** 「こんなに勉強しているのに思うように問題が解けない」、「この前はできたのに…」、この時期は精神的にも疲れているので、誰でもスランプに陥りやすくなります。そんな時は自分を客観的に見てくれる人に早めに相談しましょう。
- ④生活習慣と健康管理に気をつけよう** 人間の脳が活発に動き始めるのは目覚めてから、約3時間後と言われています。入試は朝9時頃から始まるので、本番当日は6時頃に起きるのがベストです。そのためには22時頃に寝るようにし、十分な睡眠時間をとることが大切です。入試の一ヶ月前までには朝型生活に体を慣らしていくことが大切です。限られた時間を有効に使い本番に向けて、一緒に備えていきましょう。
- ⑤重要点・弱点の最終チェック** 完全に覚えるには「繰り返す」ことが最良の方法。今までにやってきた問題集をやり直し、重要事項や自分の弱点の最終チェックをしましょう。使い慣れた問題集は、思わぬ弱点や記憶漏れの発見ができ、総復習にピッタリです。「同じような問題がでたら、今度は絶対正解できる」という自信がつくまで、前にできなかった問題も完璧に理解しておきましょう。

## 感想文の書き方

感想文の書き方についてご紹介します。

ステップを踏んで感想文を書くと、構成が整った文章になります。是非、参考にしてください。

### 1.本の内容と材料を集める

感動したり、考えさせられたことに付箋を貼り、その中から特に印象に残った部分を選び出す。

### 2.材料に肉付けしてノートを作る

- ①登場人物の行動、発言、体験
- ②登場人物の行動、体験に対する自分の考えと主題に対する自分の考え
- ③②からわかる自分の性格や考え方
- ④③の具体例（成功体験、失敗体験）

### 3.何を書くかテーマを決める

2.で作成したノートを手掛かりに、感想文の中心にするテーマを決める。

### 4.構成を決める

段落構成を決める。①～④の流れ（起承転結）で構成する。

- ①なぜこの本を選んだか？など
- ②全体的な印象、全体的な内容など
- ③印象に残った点、感動したこと、それに対しての意見や感想など

### 5.原稿用紙に書く

実際に原稿用紙に下書きをし、文章を整えてから清書すれば完成。

## 北海道学力コンクール・連続模試のご案内

以下の日程で、北海道学力コンクール・連続模試を実施致します。

北海道学力コンクール(小1～中2)：1月10日(木)

北海道学力コンクール(中3)：1月11日(金)、1月26日(土)

連続模試(中3)：2月3日(日)、2月10日(日)、2月17日(日)、2月24日(日)

実施時間等は、各教室長にお尋ねください。

## 残り時間

年が明けると公立高校入試まで残り63日。1日に4時間の学習をしたと仮定すると、入試までに使える学習時間は252時間。この252時間を5教科に振り分けると、1教科当たり50.4時間。単純計算ですが、1教科残り50時間強で入試に対応できる力を身につける必要があります。たった50時間で3年間分の内容です。かなり厳しいことが分かると思います。同時に学校が休みである冬休み期間中の学習量が、いかに大切になるかも分かると思います。

残りたった63日。この63日間を頑張れない人が、どうやって高校3年間を頑張れるのでしょうか。また、高校3年間を頑張れない人が、どうやってその後の社会人生活を頑張れるのでしょうか。この63日間を人生観が変わるくらい必死に学習し、入試当日に「この日のために本当に頑張ってきた！」と自分で自分を褒められるようにしてほしく思います。頑張れ！受験生！

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870  
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

## 「運盛り」で運を！

12月は1年で最も昼間の時間が短くなる冬至を迎えます。寒くなるこの時期は「冬至の七草」と呼ばれ、食材が健康維持に役立ちます。冬至は北半球において太陽の力が最も弱まる日です。この日を境に太陽の力が甦ってくる日です。冬至に際しては、運もまたこの日を境に再び上昇すると考える「一陽来復」という考えがあるそうです。そして、運が回復することを願って「ん=運」が二つ重なる食材をたべて運を上昇させようとする「運盛り（うんもり）」とよばれる縁起担ぎの風趣があります。南瓜（なんきん=カボチャ）、人参（ニンジン）、蓮根（レンコン）、銀杏（ギンナン）、金柑（キンカン）、寒天（カンテン）、饅頭（ウンドン=うどん）など……。運も実力のうちといいますが、運をつけてこの冬を乗り切ってください。

釧路春採SC教室 渡井 学 TEL 0154-65-6458  
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

## 明けまして…よしも

塾業界のお正月は3月です。大学受験も高校受験も終わり、それぞれの進路を見届けて、初めて「今年一年が終わったな〜」と思えるのが3月という訳です。とはいえ、3月にはおせち料理も無ければ、テレビのお正月番組も、初詣の賑わいもありません。時には「寂しいお正月ですね」と人から言われることもあります。でも、私達には3月にしか味わえない最高の御馳走と最高の贅沢があります。言うまでもなく、見事に合格を勝ち取った、生徒一人ひとりの笑顔です。

受験生にとって、今までと違い落ち着かないお正月になることでしょうか。受験の不安や恐怖は勉強でしか克服できません。「明けまして…」よりも「合格おめでとう！」の言葉を沢山聞けるように、このお正月は勉強に没頭してください。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933  
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

## 自習スペース！

冬期講習が始まり、受験直前を迎えた教室は、例年生徒の様々な思いややる気で熱気を帯びています。そしてそれは、自習スペースの稼働率が上がる時期でもあります。「今年も自習スペースが君を待っているぞ！」もし勉強の仕方や何をやれば良いのかなど、不安なことがあれば、自習中に質問してくださいね。授業が忙しくて、なかなかすぐに応えられないこともあるかもしれないけれど、隙を見つけて必ず駆けつけます。もちろん受験生だけでなく、全学年の生徒に開かれているのが自習スペースです。なかなかお家で勉強がはかどらないという人は、どんどん来てくださいね。最終的にはお家での学習習慣をつけることが重要だけれど、それがつくまでは、塾で自習するというのも一つの手ですよ。

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900  
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

## 今できる親孝行

塾へ通いたくても通えない。そうした生徒も多い中、みなさんの親御さんはみなさんを塾に通わせてくださっている。我々講師陣はそのことに本当に感謝しています。さて、今みなさんができる《親孝行》とは何だろうか。いいかい、よく考えてみてほしい。みなさんの親御さんは、きっとこう思っているはず。「受験勉強に真剣に打ち込んでほしい」「我が子が志望校合格を勝ち取るべく、本当に真剣になって受験勉強に打ち込んでいるその姿を見たい」もちろん結果を出すことが大切ではあるけれど、「受験勉強というものから逃げずに真剣に勉強に打ち込んでいる我が子の姿を見たい」親の願いはただその一点だけだと思うんだ。ならば、みなさんが今やるべき《親孝行》はなんだろうか？（一斉授業において今時期はいつもこうしたことを言い続けてきました。最近は授業を離れてはおりますが、受験生はもとより塾生全員に伝え続けたいことです）